



まちあいしつ

ご自由に
お持ちください

特集 土庫病院 院長交代 新旧院長にお話を聞きました！



TOPICS

土庫病院の院長が交代します.....	p2,3
困った方にすぐ支援！「河合診療所フードバンク」.....	p4
日の出診療所在宅診療 / ふれあいデイケア.....	p5
土庫病院 2階北病棟 / 友の会健診であなたの健康をサポート.....	p6
超簡単クッキング.....	p7
健生会インフォメーション / 横山理事長ごあいさつ.....	p8

2022.April

「まちあいしつ」、リニューアル！ Vol.335

4月から土庫病院の院長が変わります

地域の皆様へ、吉川新院長と山西前院長のお二人に話を伺いました！



土庫病院 新院長 吉川周作

気なく病院に来て、居心地がいいような病院にしていきたいと思っていて、売店などにより広いスペースを確保するなど、向上を図っていきます。

山西前院長への印象を教えてください

山西先生は、年齢としては10年ほど離れています。10年というのは、医師に成り立てのころにはものすごく高い存在なんです。普通に医師が20年、30年と経験を積んでいくとそういう差はなくなっていくものなのですが、山西先生に関しては追いつかない、様々な経験をしてくられて、経営的な視点、社会情勢を視る目、コロナのことにしても、いち早く発熱外来をやる、と動かれました。普通なら、風評被害などを懸念したり、実際にコロナの患者様に対応できるのだろうか、という不安を感じるところなんです。ですが、実際に自分が行っている外来を止めてコロナ対策に注力されたり、地域から求められたことに対して応えてい

く、そういった姿勢は本当にすごいと思っています。今、地域に対して病院として何をしていけるのかを理解されていて、英断する、決断力がすごいな、と思って見ていました。

今後の抱負を教えてください

病院としての目標は、今後導入予定のMRIを活用した健診、我々が得意とする内視鏡検査をうまく活用した人間ドック、企業健診に力を注いでいきたいと考えています。場所のことや、職員の配置など課題はたくさんありますが、まだ手をつけられていない分野ということは、伸びしろがあるということなので、患者様のお役に立てるように早期発見を目指す健診事業に注力します。

また、山西先生が行ってこられた研修医指導について、自分がかまくやっていけるのか不安もありますが、更屋副院長の力も借りながら、後継者育成に尽力していこうと思っております。

院長就任にあたって

町づくりや友の会などの患者様との関わりに関して、この間コロナ禍であまりできていない状況です。コロナ禍であってもできることはあると思うので、友の会の方とも協議して模索したいと思っています。そういった町づくりから、山西先生が提唱してこられた「断らない医療」を続けていきます。往診や在宅医療を行い、地域医療の最後の砦としての自覚を持って取り組んでいきます。アメニティの面でも、患者様が何

地域医療の最後の砦として 「断らない医療」を――



土庫病院 前院長 山西行造

地域への貢献のため、 次世代の育成と地域の医療要求に応える べく、心血を注いできました

院長交代にあたって

私が院長に就任して今まで心がけていたのは、地域の医療要求に応えると同時に土庫病院が作り上げてきた特色ある医療をさらに発展させることで地域に貢献したいということと、地域医療に情熱を持った次世代の医師を初めとした医療従事者を育てる医療機関にしていきたいということです。

特に地域のところでいいますと、ご高齢の方が多くなって介護の必要方も多くなっていることから地域包括ケアという観点から介護と医療

が一体となった事業展開が求められています。その中で土庫病院が果たす役割は何かがあるか。地域包括ケアを支える、急性期の高齢者医療をきちんと担っていくこと。コロナ禍で介護施設にかかる負担が大きくなっている中でそこを支える、救急などの医療機能に力を入れていくことだと思っています。大腸肛門病センターを初めとした外科や小児科などを発展させていく等、人材の養成と質の向上を図るための取り組みをやってきました。

医師を育てるといふ点では、地域の医師の教育機関として、奈良民医連の基幹型病院として充実させることに力を入れてきました。

この二年はコロナ禍の中で感染対策を充実させる中で、必要な提言を県に発信したり、地域の医療機関と連携しながら検査や受け入れの体制強化に注力してきました。

ただ、残念なのは友の会の取り組みなど、地域に出て行く活動が減ってしまっていることです。今後は吉川院長の下で地域の方々と、より密

接したどんなときでも頼りにされる医療機関として成長させていくてほしいと思っています。

吉川新院長へ受け継いでいってほしいことや、期待したいことなど

吉川先生は、存在そのものが地域の先生方や患者さんに安心感を与える方です。これは持って生まれたものだと思うのですが、それを活かして民医連の医療機関として今まで以上に根を張っていくチャンスになると思います。「何かあったら土庫病院に」というようにいざという時に頼れる駆け込み寺のような存在にしたいってほしいと思います。吉川先生は歴代の院長たちが積み上げてきたものをさらに進化させられる力を持っていると思いますので、若い先生方が互いに励まし合える、また、地域の方々に喜んでもらえる、そういった病院にしていってほしいと信じています。

健生会の事業所紹介シリーズ

困った方にすぐ支援！

河合診療所 フードバンク

健生会の事業所紹介シリーズでは、健生会の各事業所で行っている取り組みなどを通して、より私たちのことを知ってもらうことを目的とした企画です。初回は、河合診療所の「フードバンク」を紹介します。

河合診療所では3年前から「フードバンク」に取り組んでいます。きっかけはある患者さんの「今晚食べるものがない」という訴えでした。職員が家にあるレトルト食品や乾麺を持ち寄りその場を凌ぎました。同様のことが数回続き、普段から賞味期限が近いものや家で消費できない食品、飲料品を診療所で備蓄し、経済的な理由により食べものが確保できない方々への支援として「河合診療所のフードバンク」がスタートしました。

当初は職員だけの食材集めだったためなかなか備蓄ができず、いざという時に食材確保するため奔走することもしばしばありましたが、活動は徐々に広がりを見せ多くの支援をいただけるようになりました。

現在は河合町の社会福祉協議会とのタイアップ（広報・食材集めは社会福祉協議会、食材の備蓄、管理、利用者とのやりとりを河合診療所が担当）や特定非営利活動法人フードバンク奈良からの定期的な食品提供、中央共同募金会の応援助成金で円滑な運営ができています。

定期的に利用されている方、ケアマネやヘルパーを通して支援を求める方、

一家でコロナ感染し買い物に行けない方への支援などその利用者も増えてきています。

一方で「フードバンク」ありきの生活（食費を浮かし生計を立てている）をされている方もおり、自立を妨げるのではないかとという声も聞かれます。一定のルール整備を行いながら「困った方にすぐ支援」できるフードバンク活動を広めていきたいと思えます。



「河合診療所」

〒636-0054

北葛城郡河合町穴闇 81-1

河合診療所HP



河合診療所
LINE アカウント



河合診療所には外来、往診の診療部門と合わせて在宅介護に必要なケアプランセンター、ヘルパーステーション、訪問看護ステーションがすべてそろっています。急なご依頼にもスピーディーに対応します。

土庫病院など地域の医療機関と24時間連携で対応します。緊急時いつでも看護師が対応します。



最後まで寄り添う在宅診療を

日の出診療所

皆さんは、日の出診療所で訪問診療を行っていることをご存じですか？

訪問診療とはご自宅等で月に2回程度、定期的に医師の診察を行うことです。日の出診療所は在宅支援診療所として24時間体制で、患者の自宅での療養をサポートする体制をとっています。

訪問診療では必要に応じて様々な医療的な処置もさせていただきます。採血や注射はもちろん、床ずれの処置や胃ろうや在宅酸素の管理なども行っています。

また、在宅医療ではご家族をはじめとする訪問看護やケアマネージャー等、患者を支える様々な方々との連携が不可欠です。日の出診療所では、患者を支える多くの方たちと連携・協力して、訪問診療に取り組んでいます。

訪問診療導入については、患者本人やご家族から患者の主治医等へご相談いただき、ケアマネージャーや主治医が日の出診療所に訪問診療の依頼をします。その後、カンファレンス等を踏まえて、日の出診療所から自宅にお伺いします。現在日の出診療所で訪問診療を行っている方は、約100名です。新型コロナウイルス

の流行の中、在宅診療を希望する方が増加しています。訪問診療の対象は通院することが難しい介護が必要な方、終末期の方、障害をお持ちの方等です。

自分の住み慣れた家で、1日でも長く過ごせるように私たちスタッフがお手伝いをさせていただきます。『在宅医療を考えている』『話だけでも聞いてみたい』という方がおられましたら、日の出診療所にご連絡いただければ、説明させていただきます。

今後も日の出診療所では外来医療、在宅医療ともに生活者と健康を守る取り組みに尽力していきたいと考えています。

日の出診療所 所長

佐藤 崇



日々の明るい希望に

ふれあいデイケア

はじめに、デイケア（通所リハビリテーション）とは要介護者が日帰りで通い、生活機能向上の為に訓練や、食事・入浴など生活支援を受ける為の施設とされ、要支援・要介護認定を受けた方を対象にサービス提供を行っています。

デイケアの大きな特徴として挙げられるのが、医師やリハビリの専門スタッフが勤務していることです。専門職スタッフによる専門的な計画に沿って、心身機能の回復や、日常生活での自立を図る運動療法を受けることが出来ます。

利用の目的は様々ですが「足腰が弱ってきたから筋力をつけたい」「入院中に受けていたようなリハビリを、退院後も受けたい」「外に出ることが少なくなり、楽しみがなくなった。同世代の方と関わる機会を持ちたい」「家のお風呂は怖くて入れない。安心して入りたい」「日中、家族が介護を休める時間にしたい」このような目的が挙げられ、それぞれの目的に合わせて支援を行っています。

ふれあいデイケアでは、行き帰りの送迎はデイケア職員で行う為、ご本人・ご家族様の負担が少なく利用することが出来ます。到着後は、血圧・脈・対応等を測定し、体調にお変わりないか確認

したのち、入浴・リハビリ・体操・レクリエーション・食事、ご利用者様一人一人に合わせたプログラムメニューを実施して頂いています。

当初、利用する事にためらいのあったご利用者様から『デイケアに通うことが生きがい。もっと早くから来ればよかった。』といった言葉をかけて頂きました。大変、嬉しいお言葉でした。

『出来ていたことが出来なくなっていく不安や失望』、『老化による心身機能の低下』、『仕事をしながらの介護』、『先が見えない不安の中に、少しでも明るい希望を感じて頂くことの出来るお手伝いが出来れば幸いです。』

ふれあいでは随時、利用相談・介護相談を受け付けています。お気軽にお問い合わせ下さい。

※現在、コロナ禍における感染予防対策により施設見学は行っておりません。

ふれあいデイケア 介護士長

西田翔平



土庫病院 二階北病棟をご紹介します！

患者様、ご家族様の希望に寄り添ったサポートを

二階北病棟は48床の内科急性期病棟です。現在コロナ禍で地域包括ケア病棟が閉鎖になっているため、急性医療の後に引き続き医療の必要性な方、リハビリが必要な方、在宅で療養されている方の介護家族支援短期入院（レスパイト入院）など、様々な患者様がいらっしゃいます。

や在宅生活を安全に安心して過ごしていただけているかを確認し、在宅に関わる他職種とも連携をとり、いつでも安心して相談ができるような関係性を作っています。

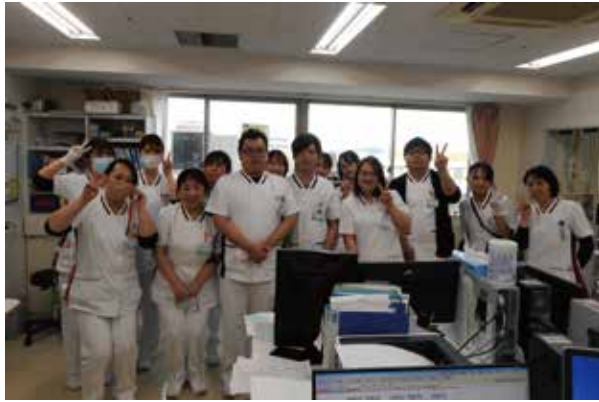
二階北病棟 看護師長

横尾洋美

医療スタッフがチームを組み、患者さん・ご家族のご意向を伺いながら退院支援を実践しています。

「元の生活に戻りたい」「もう一度家に帰りたい」といった患者さん・ご家族が望まれる日常生活行動の向上や思いに寄り添い、他職種と連携し希望が叶えられるよう援助を行っています。

今年度は退院後の患者様宅訪問を通して、在宅での介護状況



早期発見、早期治療を 友の会健診であなたの健康をサポート

受診費用、通常 12,100 円のところ、
会員価格 **4,400 円** (税込)

- ・15才以上の方
- ・年中受診可能
- ・特定健診実施期間中に受診券をご持参でさらに1,100円引き

検査項目

身体測定・診察等、尿検査、血液検査(貧血、炎症反応、肝機能、痛風、腎機能、糖代謝、脂質)心電図、胸部レントゲン
※指定の診断用紙が必要な場合は、別途費用が必要です。(2,200円)

友の会健診のお問い合わせ・お申し込みは

土庫病院 健診センター

〒635-0022
大和高田市日之出町 12-3
TEL 0745-53-5471

大福診療所

〒633-0066
桜井市 大福 240-1
TEL 0744-42-3059

河合診療所

〒636-0054
北葛城郡河合町穴闇 81-1
TEL 0745-57-0212

友の会入会をご希望の方は

友の会健診以外にも、健康作りの特典が色々！年会費 1,000 円で、ご家族全員が特典を受けられます。

健生会友の会事務局

〒635-0022 大和高田市日之出町 11-14

お惣菜を使ってラクラク♪

超簡単クッキング



いつものおかずにあと1品…、今日はおかずを作るのが面倒…。
そんな日はお店のお惣菜にひと手間加えた簡単レシピで済ませましょう！

レシピ① 卵とじ

<用意するもの>

きんぴらごぼう：1食分
緑の野菜：菜の花など
卵：1個



レシピ② ひじきの白和え

<用意するもの>

大豆とひじきの煮物：1食分
豆腐：1食分



レシピ③ 大豆飯

<用意するもの>

大豆とひじきの煮物：1食分
ご飯：1食分



食養科だより

土庫病院食養科では、お正月にはおせち、節分には巻き寿司といったように行事合った食事を提供することで季節を感じていただけるような取り組みを行っています。
今回は3月3日(木)ひなまつりの日に提供した食事を紹介します。

ひなまつりの献立

- ・ちらし寿司(海鮮)
- ・からしあえ
- ・すまし汁(はまぐり)
- ・さくらもち



※病態によって献立は変わります



なぜひな祭りにこの食材？

- ・ちらしずし…かつて祝い事に提供されていた、魚の中にお米を詰めて発酵させた保存食である「なれ寿司」がだんだん変化していき、彩りのよい「ちらし寿司」が好まれるようになりました。
- ・はまぐり…はまぐりの貝殻はもともと対だったものだけがぴつたりと合うことから、仲のよい夫婦にちなんだ食べ物とされていました。また、2枚貝はお姫様を表す意味もあったとされています。

今後とも、手作りをモットーに患者様、利用者様に安全でおいしい食事を提供できるように頑張っていきます。

KENSEIKAI info

河合診療所

・発熱などコロナウィルス感染症を疑う患者さんの診察・検査を行っています。症状のある方はお電話ください。

TEL:0745-57-0212

・3回目のワクチン接種を行っています。毎週木曜日 8:50～11:10 要予約。ワクチンの種類は選択できません。予めご了承ください。

・外来通院が困難な患者さまへの往診、訪問診療おまかせください。

【訪問地域】河合町広陵町全域、斑鳩町、上牧町、安堵町、三宅町、川西町一部。

こども診療所

大和高田市日之出町 13-3 TEL:0745-23-1682

・発熱外来

発熱のある方の診察・検査を行っています。

来院前にお電話をお願いします。

症状の無い方の診察・検査は行っていません。

・予防接種

火曜・水曜・木曜の午後に予防接種専用枠を設けています。(14:00～、15:30～)

web・電話で予約をお願いします。

日本脳炎のワクチンは入荷が少なく順番待ちになっています。電話で問合せ下さい。

小児のコロナワクチン接種は行っていません。

リニューアルにあたって、横山理事長からのコメントです！

いつも、健生会の活動に御理解、御協力有難うございます。新型コロナウイルス感染症拡大の中、ケアを必要とする方々へ必要なケアを届けようと、健生会役職員一同奮闘しています。

さて、「まちあいしつ」は健生会と皆さんを結びつける役割を担って、27年間335号にわたり発行してきましたが、この度リニューアルすることになりました。今、コロナ禍にあって、つながりが一層大切なとき、隔月になりますが、全面カラーで、ケアに関わる情報も発信し役立つ広報誌として発行してまいります。よろしくご活用お願いいたします。

理事長 横山知司



健生会ホームページはこちらから

<https://kenseikai-nara.or.jp/>

WEB

スマートフォンをお持ちの方はこちらから



発行元： 社会医療法人 健生会

「まちあいしつ」に関するお問い合わせ、ご意見など

TEL:0745-53-5471

編集者後記

院長へのインタビュー、めっちゃ緊張しました…



はじめまして。

「まちあいしつ」の編集を担当している土庫病院総務課の前田といいます。今号から「まちあいしつ」がリニューアルとなり、一新されました。紙面は楽しんでいただけたでしょうか…？

今後も地域の皆さんのお役に立てるような紙面作りを頑張っていきますので、是非手に取って読んでいただけると幸いです。